

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 9. 4

下水道機構の『新技術情報』 第298号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

早いもので9月になりました。夏休みも終わり都内の電車も平常通り混み始めましたね。急に涼しくなったので今朝は1駅手前で下車し、神田川沿いを散歩。綺麗な鳥を見つけました！鮮やかなブルーの小さな鳥ちゃん。幸せの青い鳥？ネットで調べてみると「カワセミ」と思われます。朝から癒されました(^)/

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第298号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・【再掲】9/14(木)開催の技術サロンの参加者を募集しています！

■機構の動き

- ・今週は、9/8(金)にストック活用による効率的・効果的な浸水対策等調査検討委員会を開催します

■Tea Break

- ・動物とのふれあい（研究二部 Y.T さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる

- ・本日のゆいまーるは、まる子の夏休みをお届けします

■下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

- ・今週は更新がありません

■国からの情報

- ・9/1 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション （最新の話題です）

●【再掲】9/14(木)開催の技術サロンの参加者を募集しています！

「ドイツにおける更生工法（本管）の品質管理と取付管のマネジメント（仮）」をテーマに、下水道機構 技術評価部長 宮入 篤が講演致します。多数の皆様のご参加お待ちしております！

行 事：第 362 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 9 月 14 日(木) 16:00～17:00

講演者：(公財) 日本下水道新技術機構 技術評価部長 宮入 篤

テーマ：「ドイツにおける更生工法（本管）の品質管理と取付管のマネジメント（仮）」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○○。

●行 事：平成 29 年度 第 1 回

ストック活用による効率的・効果的な浸水対策等調査検討委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

日 時：平成 29 年 9 月 8 日(金) 15:00～17:30

案 件：(1)ストキャスティック手法を用いた雨天時浸入水対策に関する共同研究（新規）、(2)効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲートに関する共同研究（新規）、(3)雨水管理支援ツール（アラート配信）に関する共同研究（新規）、(4)降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する共同研究（新規）

○行 事：第 362 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 9 月 14 日(木) 16:00～17:00

講演者：(公財) 日本下水道新技術機構 技術評価部長 宮入 篤

テーマ：「ドイツにおける更生工法（本管）の品質管理と取付管のマネジメント（仮）」

※参加申し込みはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●動物とのふれあい（研究二部 Y.T さんから投稿です）

夏季休暇を利用し、那須高原へ遊びに行きました。最大の目的は、那須アルパカ牧場でたくさんのアルパカと戯れる？ことです。

那須アルパカ牧場には、約 400 頭ものアルパカが暮らしており、ふれあい広場では、3 頭のアルパカと 10 分間ふれあうことが出来ます。また、ミラバケツでおなじみのクラレちゃんにも会うことが出来ました。

皆さんがアルパカと聞いて想像するのは、近づくと唾をかけられることだと思います。想像のとおり、触ろうとすると威嚇するとともに、大量の唾を吐きかけてきます。そのため、触る場合は、ソーっと後ろから近づいて、首元をホールドしてあげると身動きがとれなくなります。ぜひ試して下さい。今回、新たに発見があったのは、アルパカには下の歯（非常に出っ歯）しかなく、噛まれても痛くないことです。何故、下の歯しかないのかは、調べてみて下さい。

日々の生活に疲れた時は、那須アルパカ牧場でたくさんのアルパカと触れ合ってみてはいかがでしょうか。

。○○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○○。

●本日のゆいまーるは、まる子の夏休みをお届けします

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-9-4>

!(^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^)♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」の紹介

。○○。

国土交通省では、平成 28 年度より下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を試行的に運用し、地方公共団体の職員が職場に居ながら浸水対策に係る情報を入手して技能を習得できるよう、国や各都市の取組、統計情報や雨道場の情報等を配信しています。

当機構では、国土交通省の政策支援として、アメッジにおけるコンテンツの充実化や改良を行い、浸水対策の促進を図っています。

アメッジ内の一部コンテンツにおいては、事前登録（現時点では、国と地方公共団体が対象です。）が必要となります。新規登録は、以下の URL よりお願いします。

登録画面 URL :

<http://shinsui-portal.jp/regist/>

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.9.1付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

昨日は、サッカー日本代表が来年のワールドカップ出場を決めました。

よかったです！また、楽しみが増えました！！

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 平成 29 年度「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」受賞団体を決定しました！
(下水道企画課)
- 平成 30 年度 下水道事業予算の概算要求概要について（下水道事業課）
- 土木学会平成 29 年度全国大会研究討論会
「下水処理水の利用促進における環境工学の役割」のご案内
(土木学会環境工学委員会 次世代下水道小委員会)
- 環境システム計測制御学会（EICA）の第 29 回研究発表会のご案内
(環境システム計測制御学会)
- 9/14(木)第 362 回技術サロンを開催します
(（公財）日本下水道新技術機構)
- 2017 年度 公益社団法人 日本推進技術協会 推進工法技術講習会のご案内
(（公社）日本推進技術協会)

=====

- 平成 29 年度「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」受賞団体を決定しました！
(下水道企画課)

国土交通省では、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する「循環のみち下水道」につながる優れた取組みを「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」として表彰しており、今年度で 10 回目となります。

今年度の受賞団体は、厳正な審査の結果、浜松市の「日本初、下水道へのコンセッション方式導入」（グランプリ）をはじめ全 10 件に決定しました。

受賞団体は以下のとおりです。

【グランプリ】

・浜松市

「日本初、下水道へのコンセッション方式導入」

【イノベーション部門】

- ・ 上野台堆肥生産協同組合、秋田工業高等専門学校、秋田県
「産学官で創る食の地域ブランド！ 拡がるじゅんかん育ち」
- ・ 豊橋市
「国内最大規模の複合バイオマス利活用施設」
- ・ 福岡市
「福岡のまちと共生する屋台の環境整備」

【レジリエント部門】

- ・ さいたま市
「下水道・河川・道路の連携による水位情報の見える化」

【アセットマネジメント部門】

- ・ 矢掛町
「下水道事業の広域化・共同化」
- ・ G K P 下水道を未来につなげる会、東京電機大学、東京都市大学、茨城大学、
京都大学、木更津工業高等専門学校
「産学官連携によるリクルート活動」

【広報・教育部門】

- ・ 東京都
「東京下水道の「見える化」への挑戦」
- ・ 横浜市立舞岡中学校科学部
「市民科学による生物調査を通じた下水道の「見える化」」
- ・ 名古屋市
「次世代を担う子どもたちに向けた上下水道訪問授業」

各受賞団体の取組内容については以下のリンク先をご参照下さい。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000085.html

なお、受賞団体の表彰式を平成29年9月8日（金）に国土交通省にて開催します。
受賞事例を各地の下水道事業の更なる発展に向け、ご参考にさせていただきますようお願いいたします。

また、来年度も積極的にご応募いただけますようお願いいたします。

○ 平成30年度 下水道事業予算の概算要求概要について

（下水道事業課）

平成30年度の国の予算に関する概算要求がまとまりました。下水道事業予算に関する概算要求の概要は以下の通りです。

【予算規模】

下水道事業費補助等は、6,290百万円（前年度比1.17）、下水道関係を含む社会

資本総合整備（社総交、防安交）は、2,346,595 百万円（同 1.17）の要求となっています。

【新規事項等】

（１）下水道総合地震対策事業の拡充

計画的に地震対策を実施していくため、下水道総合地震対策事業の期間延伸を行うとともに、帰宅困難者対策施設と処理場を結ぶ管渠の整備を、新たに下水道総合地震対策事業の交付対象に追加。

（２）下水道管渠緊急対策事業の創設

下水道管渠が原因の道路陥没による社会経済活動への影響を軽減するため、旧規格の管渠のうち、緊急性が高い管渠の調査・改築を交付対象とする下水道管渠緊急対策事業を創設。

（３）下水道広域化推進総合事業の創設

地方公共団体における汚水処理の広域化を促進するため、計画策定から統合に必要な施設整備等の取組までを総合的に支援する下水道広域化推進総合事業を創設。

（４）民間活力導入促進事業の創設

下水道事業における公共施設等運営権制度（以下、「コンセッション」という）の導入促進を図るため、コンセッションを導入する際の資産調査（デューデリジェンス）や事業開始後に生じる履行監視（モニタリング）等を交付対象とする民間活力導入促進事業を創設。

（５）下水道エネルギー・イノベーション推進事業の創設

下水道の資源・エネルギー利用の推進を図るため、広域的なバイオマス利用計画の策定、資源・エネルギー利用に向けた調査及び施設整備、他のバイオマスの受入施設整備等を総合的に支援する下水道エネルギー・イノベーション推進事業を創設。

○ 土木学会平成 29 年度全国大会研究討論会

「下水処理水の利用促進における環境工学の役割」のご案内

（土木学会環境工学委員会 次世代下水道小委員会）

土木学会環境工学委員会では、九州大学で開催される土木学会全国大会において、下水再生水に関する研究討論会を企画しております。

本討論会では、下水再生水の利用促進に取り組んでいる方々に話題提供をしていただき、今後の下水再生水利用のあり方を考え、環境工学分野が貢献をしていくには何が必要か、関係者間の議論を展開したいと思っております。

特に関係自治体、関係部署の若手技術者の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

日時：平成 29 年 9 月 13 日（水）13:00—15:00

場所：九州大学伊都キャンパス西講義棟第一講義室

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>)

討論会の詳細及び申込方法に関しては、下記 URL を参照ください。

<http://committees.jsce.or.jp/eec/>

○ 環境システム計測制御学会（EICA）の第29回研究発表会のご案内

（環境システム計測制御学会）

環境システム計測制御学会（EICA）では、以下の日程で第29回研究発表会を開催します。皆様からのご参加を心よりお待ちしております。

【第29回研究発表会 開催概要】

<研究発表会> 平成29年11月9日（木） 11:00~18:00

金沢大学サテライト・プラザ

※研究発表会終了後、交流会（参加無料）を開催いたします。

<見学会> 平成29年11月10日（金） 8:45~16:00（予定）

中能登町バイオマスメタン発酵施設、金沢市末浄水場、辰巳ダム他

<会場> 金沢大学サテライト・プラザ

〒920-0913 金沢市西町三丁目16番地 金沢市西町教育研修館内

※詳細は学会HPをご覧ください。<http://eica.jp/29th-sanka.html>

○ 9/14(木)第362回技術サロンを開催します

（（公財）日本下水道新技術機構）

「ドイツにおける更生工法（本管）の品質管理と取付管のマネジメント（仮）」と題しまして、先進国であるドイツにおける管きよ更生工法（本管）の品質管理と取付管に関する現状、課題および先進的な取組み等についての調査報告を、下水道機構 技術評価部長 宮入 篤が講演致します。

行 事：第362回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

日 時：平成29年9月14日(木) 16:00~17:00

講演者：（公財）日本下水道新技術機構 技術評価部長 宮入 篤

テーマ：「ドイツにおける更生工法（本管）の品質管理と取付管のマネジメント（仮）」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

皆様のご参加お待ちしております！

○ 2017 年度 公益社団法人 日本推進技術協会 推進工法技術講習会のご案内
(（公社）日本推進技術協会)

推進工法技術への的確な理解と適正な運用を目的に「推進技術講習会」を全国で実施しております。

2017 年度の技術講習会のテーマは、「改築推進工法などに活用される事例と適用ポイント」、「推進工事の適切な設計変更への対処方法について」、「推進工事の施工トラブル例と対策」の3テーマを選定して解説することに致しました。

今後の推進技術の適正な活用を目指し、関係各位の参加を頂きたくご案内申し上げます。本講習会は、全国土木施工管理技士会連合会および土木学会の継続学習制度（CPDS）のプログラムとして認定されています。

全国で9会場で開催される本講習会の日程、申し込み方法等については、以下に掲載していますのでご参照ください。

http://www.suisinkyō.or.jp/gi_jyutu/gi_jyutukousyu.htm

=====

【参考情報】

◆平成 29 年度茨城県下水道促進週間の活動について <8/24 茨城県>

<http://www.pref.ibaraki.jp/doboku/gesui/kikaku/gesuidoka/promoweek/h29index.html>

◆下水道分野で「KSIS」の実証実験 クボタ・NTT グループ <8/28 農業協同組合新聞>

<http://www.jacom.or.jp/shizai/news/2017/08/170828-33492.php>

◆マンホールのふたに熱視線 10枚に県内外の83人購入希望 <8/30 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/gunma/list/201708/CK2017083002000176.html>

◆上下水道代 20%上げ 福井市、19 年度めど <8/31 日本経済新聞>

https://www.nikkei.com/article/DGXLASJB30H2R_Q7A830C1LB0000/

◆ミハリンとタコじい マンホール蓋 楽しく！ <8/31 YOMIURI ONLINE>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/hiroshima/news/20170830-0YTNT50314.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニュースレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
